

かぐや姫



昔、ある所に

竹取の翁と呼ばれるお爺さんが
おりました。

ある日、竹林でお爺さんは、

根元が光っている竹を見つけました。

不思議に思い、切ってみますと、

竹の中から、

小さな女の子が現れました。



翁

竹林

竹

お爺さんはその子を掌に乗せて帰り、
お婆さんに言いました。

「この子が竹の中にいたのだよ。
きっと神様からの授かりものに違いない。」

てのひら
掌

授かりもの



お爺さん

お婆さん

女の子が家に来てから
不思議なことが起き始めました。

お爺さんが竹を切るたびに、

大判小判が出てくるのです。

二人はたいそうなお金持ちになりました。

